

<平和学園と繋がるすべての方へのメッセージ>

みなさん、こんにちは。

わたしは 秦万里子と申します。今から約 20 年前に双子の娘が平和学園小学校に通っておりました。大事な大事な時期をこの学校で過ごせたことは、親子共々いまでも宝物だと思っています。

1日1日が貴重な時で、一つ一つの行事が思い出深く、一人一人を大切にしてくださった平和学園小学校は、わたしの故郷でもあります。わたしの専門が音楽なので、歌もいくつか作ってしまったほどなんですよ。

当時、グレーニアホールで、その曲に合わせて踊ったり歌ったりしたことが、忘れられません。

教える側と教えられる側、というよりも共に楽しく成長する場所だったと思います。それは我々保護者にとってもそうでした。話を聞いていただき、より良くするためにはと先生方といっぱいお話をさせていただきました。

我が子のことも、まるで先生の家族のように、どこが痛くて、どこが悲しくて、どこが嬉しいのかをわかって頂いていたことは心強く、窓口の方々、保健室の先生、どこを見回しても「安心」がありました。この世界でそんな場所はなかなかありません。

それはおそらく向かい合って話し合っただけでそれぞれがそれぞれを大事にしてきたからだと思います。あの日々、、素敵な日々でした。

また、これは個人的なことですが、彼女たちが一年生の時にわたしは夫と突然別れることとなります。そのときに先生方がおっしゃった言葉がいまでも耳に残っています。この言葉がこの学校の全てを表しています。

「学校のすべての大人が 二人のお父様に代わってお二人のお嬢様を愛しますから。全力で愛しますから。」

涙が止まりませんでした。

そんな平和学園小学校は 最初に書いた通り、いまでもわたしの宝物です。

<曲について>

この新型コロナの感染は、誰も想像ができなかった出来事ですね。

地球には大切なものがいっぱいありますが、そこに片目をつぶってより便利なものを求めて、簡単に国内外に飛んでいけるようになって、コロナはあっという間に広がってしまいました。

そして、いろいろわかってきましたね。動けば、誰かが危険になる。知らない間にうつって、うつしてしまう。自分がコロナの郵便屋さんになったら大変です。

だからおうちにいましょう。春は来年もきます。

そして、いま、感染してしまった人たちを助けるために毎日毎日、朝昼晩、働いている方々の助けにもなります。

だからおうちにいましょう。海も空も来年までちゃんとあります。

でもおうちにずっといたら、なんだか気持ちがトゲトゲしてしてしまうこともあります。

家族だからこそ、ぶつかってしまうこともあります。そんなときには、この曲で、イライラやモヤモヤを鎮められたらいいと思っています。

そんな気持ちで作ったこの曲は世界各国の方々に聞いていただきたいと思っています。

あなたの大事な人、大切な人、家族や友達のために今は うちにいましょうと世界中にいいたいと思いました。

歌っているのは、平和学園小学校をこよなく愛した私の娘たちです。いま、ヨーロッパに住んでいますが、日本いる平和の仲間たちとつながっています。

また今日もうちにいろの？いつまでいなきゃいけないの？

そう思いますよね。私だってコンサートをしたいと思います。いっぱい人と音楽を楽しみたいと思います。

だから、いまだから、できることを探してみましよう。私は飛行機で12時間もかかるところにいる娘たちと演奏ができました。新型コロナウイルスが来てお家にいるから、できること考えてみてくださいね。

そして、この七カ国語の歌が世界中に飛んで、一日も早く終息する日を心から願っています。